

1年 年間授業時数：140時間

2年 年間授業時数：140時間

3年 年間授業時数：140時間

学習目標

本校の英語科の目標

- 国際的な感覚と教養を持ち、実践的に英語を活用してコミュニケーションを図ることができる。
- 聞く、話す（やり取り・発表）、読む、書くの4技能（5領域）について、偏りのない英語力を身につける。
- 幅広い文章を理解し、それに対しての自分の意見を表現することができる。

前期課程の目標（何ができるようになるか）

- 五感を活用し、英語でのコミュニケーションに、間違いを恐れず積極的に取り組む姿勢を養う。
[知識・技能] [学びに向かう力・人間性]
- 予習→授業→復習のサイクルを確立し、後期課程にスムーズに接続できるよう、学習習慣を身につける。
[知識・技能] [思考力・判断力・表現力]

学習方法（どのように学ぶか）

- 4技能（5領域）をバランスよく伸ばしていくよう意識する。【対話的な学び】【主体的な学び】【深い学び】
- 学習内容が身についているか、小テスト(Review Test、Vocabulary Contest など)にて定期的に確認する。
[深い学び]
- 内容定着のため、「毎日ノート」を全学年で行い、学習習慣の定着を図る。【主体的な学び】
- ネイティブスピーカーの先生と、間違いを恐れず、直接英語でコミュニケーションをとる。【対話的な学び】
- 教科書の他に副教材(New Treasure)を使用し、学習内容の定着と発展的な学習に取り組む。【深い学び】
- 文法学習を軽視せず、「なぜそうなるのか」論理的に深く考えながら、体系的に学習する。【深い学び】

評価の観点・方法

観点① 知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる [学びに向かう力・人間性]			
観点② 思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりできる。 [思考力・判断力・表現力]			
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手や読み手、話して、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。 [思考力・判断力・表現力]			
評価の方法\観点		①	②	③
学習状況観察		○	○	◎
提出物		○		◎
授業内小テスト・実技テスト		◎	◎	○
定期考査		◎	◎	

学習アドバイス

- 英語はコミュニケーションの道具です。授業中は間違いを恐れず、口・耳・目を使い積極的に参加しよう。
- 疑問点は授業中や授業前後に質問し、その日のうちに解決しよう。(わからないものをそのまま放置しない)
- 必ず毎日、短時間でもとにかく英語に触れることが大切です。毎日ノートは習慣として欠かさず取り組もう。
- 予習→授業→復習の黄金サイクルを確立しよう。週末課題やワーク等の課題は自分の力を試すチャンスです。
- 文法学習は「なぜそうなるのか」理由を論理的に説明できるように。(何となく…など「わかったつもり」に要注意)
- 本文のCDを活用し、家でも英語の音声に触れ、音読練習やディクテーション等に取り組もう。
- 日々の小テスト(Review Test 等)は間違い直しも含めしっかり取り組み、学んだことを確実に定着させよう。

第1学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：NEW HORIZON 1

副教材：NEW TREASURE -third edition- Stage1、NEW TREASURE 文法問題集、Active Phonics

Jack 21 標準編 英語 vol.1、英和・和英辞書(各自購入 *推薦辞書あり)、Welcome to Tokyo Basic

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	〔知識・技能〕 通年 - 英語やその背景にある文化や社会に関する知識を深めることができる。 - 英語でのコミュニケーションにおいて必要な基本的な単語や文法を習得することができる。 〔思考力・判断力・表現力〕 通年 - 英語を聞いて、情報を整理しながら考えを形成することができる。 (聞くこと) - 英語を読んで、情報を整理しながら考えを形成することができる。 (読むこと) - 場面に応じて、既習事項を用いて適切なやり取りをすることができる。 (話すこと[やり取り]) - 既習事項を用い、自分の考えや意見を伝えることができる。 (話すこと[発表]) - 長文読解を通し、文章や情報を正確に読み解く力を身に付けるとともに、科学的思考や現実の問題を解決に導く力を身に付ける。 (読むこと[STEAM教育]) 〔学びに向かう力・人間性〕 通年 - 毎日ノートを有効活用し、学習習慣を身に付ける。 - コミュニケーションの素地を養い、英語を使う楽しさを体感することができる。	NEW TREASURE 1 Lesson 1 ～ 4 - be 動詞の文 - 形容詞 - 一般動詞の文 - 人称代名詞 - 指示代名詞 - 代名詞の目的格 - 疑問詞 (who / what / where / when) 3 人称単数現在形	
2 学 期	〔思考力・判断力・表現力〕 - 感情を込めて 80 語程度の物語を朗読できる。(Recitation Contest) (話すこと[発表]) - 既習事項を用い、自分の考えや意見を論理的に書くことができる。 (書くこと)	NEW TREASURE 1 Lesson 5 ～ 9 - 疑問詞 (whose / which / how) - 所有代名詞 - How＋形容詞・副詞～? - 命令文 - 助動詞 can - 現在進行形 - 動作動詞と状態動詞 - 一般動詞の過去形(規則・不規則)	
3 学 期	〔思考力・判断力・表現力〕 - 英検 4 級程度、GTEC for Students Core 440 点程度の英語力を身につける。(聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]) - 簡単な日本の紹介文を英語で書き、それをスピーチとして発表することができる。 (話すこと[発表])	NEW TREASURE 1 Lesson 10 ～ 11 - be 動詞の過去形 - 過去進行形 - it の特別用法 - 特別用法の it - 疑問詞 (how / why) - 未来形 - There 構文	

第2学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：NEW HORIZON 2

副教材：New Treasure -second edition-1・2、文法問題集1・2、英和・和英辞書(各自購入 *推薦辞書あり)、
Jack 21 標準編 英語 vol.1・vol.2、Welcome to Tokyo Basic

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	[知識・技能] 通年 - 英語やその背景にある文化や社会に関する知識を深めることができる。 - 英語でのコミュニケーションにおいて必要とされる基本的な単語や文法、また発展的な事項を習得することができる。 [思考力・判断力・表現力] 通年 - 英語を聞いて、情報を整理しながら考えを形成することができる。(聞くこと) - まとまりのある文章を読み、速読しながら概要を理解し設問に必要な情報を読み取ることができる。(読むこと) - まとまりのある文章を読んで、情報を整理し、それに関する自分の考えを形成することができる。科学的思考や現実の問題を解決に導く力を身につける。(読むこと) - 身近な話題について、相手とその場で即興でやり取りができる。(話すこと[やり取り]) [学びに向かう力・人間性] 通年 - 毎日ノートを有効活用し、学習習慣を身に付ける。 - コミュニケーションの素地を養い、英語を使って自分の意見を伝えようとする。	NEW TREASURE 1 Lesson11～14 - 未来表現 be going to～ - 色々な助動詞 (will,may,must, have to 等) - There 構文 - 可算名詞と不可算名詞 - 同等比較(as+原級+as) - 比較級と最上級 パラリンピック学習 - 歴史と精神について - 競技種目について - 各種競技の紹介文作成 - 上記について発表 - 現地観戦（8月）	
2 学 期	[思考力・判断力・表現力] 既習事項を活用し、オリンピックやパラリンピックに関するテーマなどにおいて、自分の意見や考えを相手に伝えることができる。(書くこと・話すこと[発表])	NEW TREASURE 2 Lesson1～5 - 助動詞(shall, should 等) - 品詞と文型(SV,SVC, SVO) - to 不定詞(基本3用法) - 等位接続詞 - 副詞節(時・条件・理由・譲歩)を導く従位接続詞 - 名詞節を導く接続詞 that - 時制の一致 - 文型(SVOO,SVOC) - 動名詞	
3 学 期	[思考力・判断力・表現力] - 感情を込めて 300 語程度の物語を朗読できる。(Recitation Contest) (話すこと[発表]) - 英語の長文を読み、その内容を日本語（英語）で要約できる。(読むこと・書くこと) - 英検 3 級程度、GTEC for Students Core で 505 点程度の英語力をつける。 (聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]) - 既習事項を活用し、日常に関する様々なテーマについて自分の意見や考えを適切に書くことができる。 (書くこと)	NEW TREASURE 2 Lesson6～7 - 現在完了形 /現在完了進行形 - 受動態 - 名詞の分類 (集合・物質・抽象・固有名詞など) - 不定代名詞の用法	

第3学年の学習内容（何を学ぶか）

教科書：NEW HORIZON 3

副教材：NEW TREASURE -second edition Stage2、NEW TREASURE WORKBOOK 2、NEW TREASURE 文法問題集2、Winning 英語3、INSPIRE 総合英語、Inspire English Grammar 40 Units、Inspire English Grammar Workbook、四訂版 英語総合問題集 UNITE Stage1、音読英単語（入門編）、Focus on Listening Elementary

	育成する資質・能力 (何ができるようになるか)	学習内容／教材 (何を学ぶか)	特記事項・他
1 学 期	[知識・技能] 通年 - 英語やその背景にある文化や社会に関する知識を深めることができる。 - 英語でのコミュニケーションにおいて必要な基本的な単語や文法、また発展的な事項を習得し、それを用いて話したり書いたりできる。 [思考力・判断力・表現力] 通年 - 絵や写真に合う適切なストーリーを即興で考え、相手に伝えることができる。(話すこと[やり取り]) - まとまりのある英語を聞いて、情報を整理しながら考えを形成することができる。(聞くこと) - まとまりのある文章を読み、速読しながら概要を理解し設問に必要な情報を読み取ることができる。(読むこと) - まとまりのある文章を読み、それに関する自分の考えを形成することができる。(読むこと) - 長文読解を通し、文章や情報を正確に読み解く力を身に付けるとともに、科学的思考や現実の問題を解決に導く力を身に付ける。(読むこと[STEAM教育]) [学びに向かう力・人間性] 通年 - 毎日ノートや問題集を有効活用し、自ら学習する習慣を身に付ける。 - 海外研修旅行に向け、目的意識を持って学習に取り組み、既習事項を用いて英語でコミュニケーションを取ろうとする態度を身に付ける。	NEW TREASURE 2 Lesson8～12 - 再帰代名詞の用法 - 分詞の後置修飾 - 関係代名詞 (主格、所有格、目的格) - 否定疑問文 - 仮主語 it の構文 - SV0 + to 不定詞 - 疑問詞+to 不定詞 - too～to…/～enough to… 構文 - 比較の応用 (最上級相当表現、倍数) - 間接疑問 - 付加疑問 - 感嘆文	
2 学 期	[思考力・判断力・表現力] - 感情を込めて自分の伝えたいことや偉人のスピーチ等を朗読できる。(Recitation [Speech] Contest) (話すこと[発表]) [知識・技能] - 中学英語を総復習し、自分の弱点を把握し、前期課程3年間の既習事項を定着させる。 - 高校入試レベルの問題で7割以上得点できる程度の英語力を身に付ける。	- 中学3年間の総復習 - 高校入試問題演習 (都立共通問題・自校作成問題) <<高校段階の内容へ>> Inspire 1～2 文の種類 3～4 文型 副教材（未定） 速読・多読の演習	
3 学 期	[思考力・判断力・表現力] - 英検準2級程度、GTEC for students Basic 590点程度の英語力をつける。(聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]) - 自分の興味のある人物や物事について、分かりやすく読み手を惹き付ける120語程度の文章を書き、発表することができる。(書くこと・話すこと[発表])	Inspire 5～8 文型・時制 副教材（未定） 速読・多読の演習	